



# じゃあすき あけぼの



福山市立曙小学校 校長だより 2026年(令和8年)6月24日

## 自分を高めるために

中学校に勤めているときの、ある高等学校の校長先生との会話から紹介します。

- ① どんな生徒が伸びますか？
- ② 進学や就職に向けた進路指導で、何を大切にされていますか？

その校長先生は、次のように話してくださいました。

- ① 自分の意志で選んで来てくれた生徒とそうでない生徒とでは、入学してからの成長が全く違うと思います。目的と意欲を持って入学してくる生徒は、やはり高校3年間で充実しています。
- ② 進みたい進路を自分の意志で選ぶこと、そして、その進路に向かってがんばってもらうことを目指します。そのために「どうして?」「(そのために)どうしていくの?」と、できるだけ具体的に語る事ができるように尋ねます。  
「あなたが進みたい大学(会社)は、どんな人物がほしいと思いますか?」と尋ねたり、ときに、「あなたのクラスやクラブにいる人で、どんな人が選ばれると思いますか?」と尋ねたりすることもあります。語らせたいのは、どうしてそう思い、自分は何をがんばっていくのかを明らかにさせたいからです。

こうしたお話を受け、実際進めている進路指導について振り返りました。

ある研修で、わたしが問われた質問を紹介します。

あなたは、ファーストフード店の店長だとします。バイトをしてくれる人を募集しました。どんな人物を採用したいですか？

さて、みなさんはどうお考えになられますか？

(わたしが考えたこと)

進路を選ぶとき、「認めてもらう」「入れてもらう」という現実があります。

どんな自分に高めていくのか、そのために何をがんばっていくのかを考え、実行したいものです。

○店の接客マニュアルを守ってくれる人物  
○アクションがあったとき、より正しい判断ができる人物  
○店がよりよくなるアイデアを考える人物

A school that nurtures dreams and hopes

～ 夢と希望を育む学校 ～